

工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	係員	審査員	設計者				
執 行 年 度		令和 2 年度									
工 事 番 号 工 事 名		R元線R2国補・市道A0114号線外 道路標識修繕工事									
工 事 場 所 又は履行場所		石岡市 石岡二丁目外 地内									
施 工 方 法		請負			原契約年月日		年 月 日				
工 期 又 は 履 行 期 間		令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 90 日間									
受 注 者											
費 目	起 工	第1回変更			増 減 (△)		変更請負に付する工事価格 $= \text{変更積算工事価格} \times \text{請負比率}$ 請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め) 変更積算工事価格 一 円 請負比率 一 変更工事価格 一 円				
起 工 額											
請負(委託) に付する額											
工事(業務) 価 格											
測量試験費 又は工事雑費											
消費税相当額											
請負(委託) 決 定 額											
工 事 概 要											
内 容		規 格 1	数 量 1	单 位 1	規 格 2	数 量 2	单 位 2	規 格 3	数 量 3	单 位 3	
道路標識撤去設置 (方向方位) 広角プリズム型 2基											
変更理由											

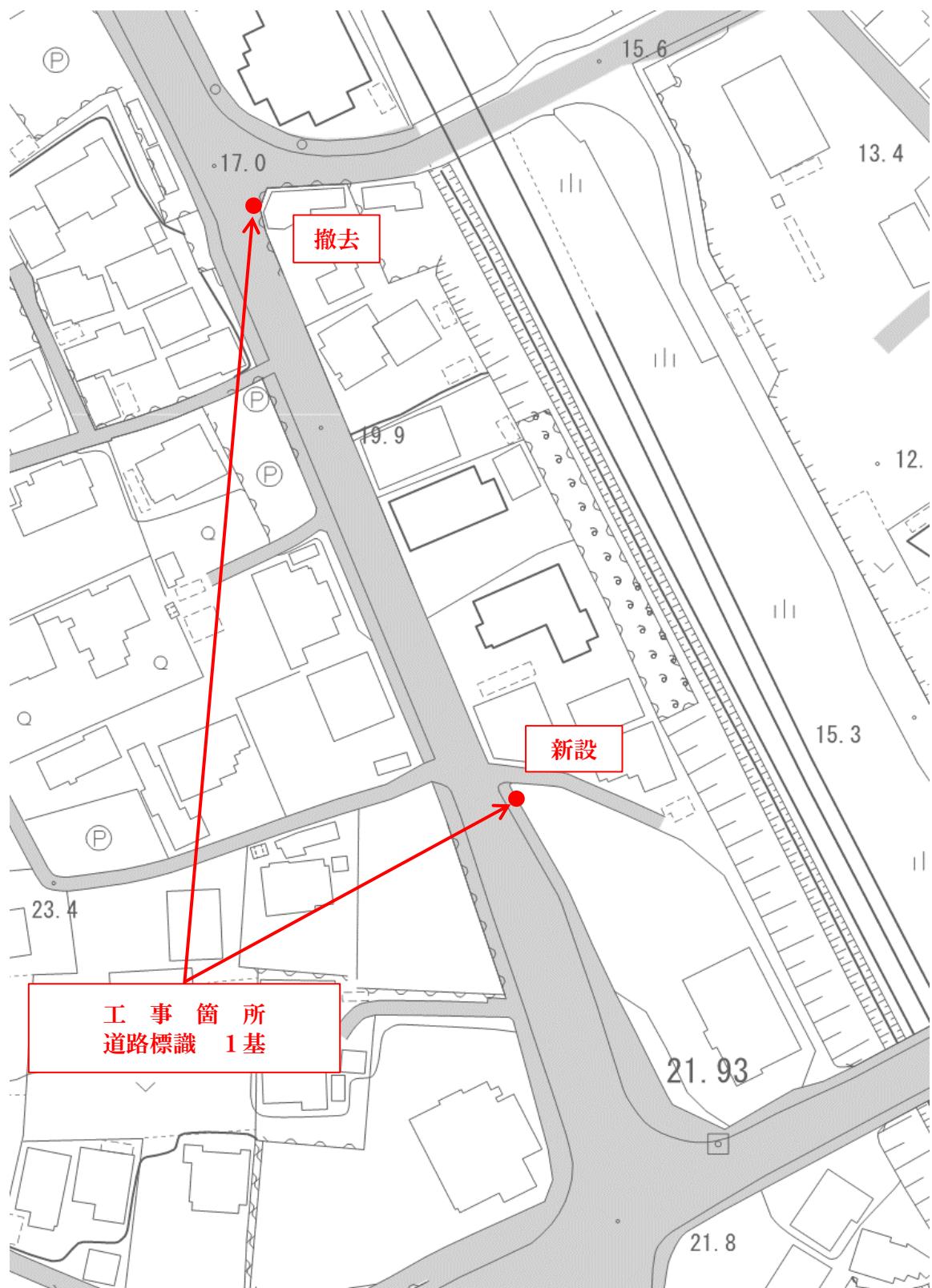
位 置 図①(市道A0114号線)

R元線R2国補・市道A0114号線外道路標識修繕工事
石岡市 石岡二丁目外 地内



位 置 図②(市道A0126号線)

R元線R2国補・市道A0114号線外道路標識修繕工事
石岡市 石岡二丁目外 地内



特記仕様書

(総則)

- 第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。
2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

- 第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

(工事数量)

- 第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

- 第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格

(建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

- 2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

- 第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

- 2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

- 第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1)積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
(2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
(3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

第9条 工事の施工にあたっては、別添図面のとおり、交通誘導員及び保安要員を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、現道等に関わる工事又は業務において交通誘導員の配置が必要な場合には、交通誘導員Bを必要員数配置するものとし、かつ上記指定箇所の場合には内1人以上交通誘導員A(有資格者)を配置するものとする。なお、交通誘導員は警備業者の警備員としているが、やむを得ない理由により受注者がこれを確保できない場合には、上記以外の者が交通誘導を行うことを認め、交通誘導に支障が無いよう指示書で指示するものとする

(発生土の処理)

第10条 該当なし

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて抗等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。

- (2)受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
- (3)受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
- (4)受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
- (5)受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
- (6)受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。

2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

(その他)

第15条 本工事では、看板や照明灯等を適切に設置し安全対策を施すこと。

工事数量総括(内訳)表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳	
道路維持			1	式			
標識工			1	式			
大型標識工			1	式		標識基礎 片持標識柱 標識板	
構造物撤去工			1	式			
標識撤去工			1	式		標識撤去	
運搬処理工			1	式		殻運搬 殻処分	
仮設工			1	式			
交通管理工			1	式		交通誘導警備員	
直接工事費計			1	式			
共通仮設費(率計上)			1	式			
共通仮設費計			1	式			
純工事費			1	式			
現場管理費			1	式			
工事原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
契約保証費用			1	式			
工事価格			1	式			

工事数量総括(内訳)表

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別	数量	単位	金額	細別 内訳
消費税相当額		1	式		
請負工事費		1	式		

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要				
道路維持													
標識工													
大型標識工													
標識基礎					2.000	基							
標識基礎設置(片持式・門型式) 基礎の形式(片持式の基礎), 基礎の規格(4.0m ³ 未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無), 地下構造物等の障害(無)					0.460	m ³			第0001号代価表				
ポールアンカー 100型V H=150~400													
抵抗板付鋼製杭基礎工 打込または引抜 施工条件II					1.000	t							
片持標識柱					2.000	基							
標識柱設置(片持式) 柱の質量区分(400kg以上/基), 柱材料の規格(亜鉛メッキ), 柱1基当たり質量(実数入力)(406 kg/基), 施工規模加算(2基), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無)					2.000	基			第0002号代価表				
標識板													
標識板設置(案内標識[路線番号除く]) 作業内容(新設), 標識板の規格(2.0m ² 以上), 反射シートの種類(広角プリズム), 施工規模加算(10m ² 未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無), 標識板の裏面塗装(無)					7.000	m ²			第0003号代価表				
構造物撤去工													
標識撤去工													

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
標識撤去						基			
					2.000				
標識柱撤去(片持式・門型式) 柱の種類・規格(片持式 400kg未満/基), 施工規模加算(2基), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無)						基			第0004号代価表
					2.000				
標識板撤去(案内標識)(路側式・片持式・門型式) 標識板の規格(2.0m ² 未満), 施工規模加算(10m ² 未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無)						m2			第0005号代価表
					3.000				
スクラップ ヘビーH1						t			
					0.700				
標識基礎撤去(片持式・門型式) 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無)						m3			第0006号代価表
					1.000				
運搬処理工									
殻運搬						m3			
					1.000				
殻運搬 殻発生作業(Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし), 積込工法区分(機械積込), DID区間の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)						m3			施工P 第0007号代価表
					1.000				
殻処分						m3			
					1.000				
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下						t			処分費等
					2.000				
仮設工									
交通管理工									
交通誘導警備員						人日			
					6.000				
交通誘導警備員B						人日			
					6.000				

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

第 0001 号 代価表 標識基礎設置(片持式・門型式)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
標識基礎設置 コンクリート基礎 4.0m ³ 未満	1.000	m ³			
合計					
			単位当たり		
J 0 1 基礎の形式	1		入力名称	片持式の基礎	
J 0 2 基礎の規格	1			4.0m ³ 未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正	1			無	
J 0 4 夜間作業の補正	1			無	
J 0 5 地下構造物等の障害	1			無	

第 0002 号 代価表 標識柱設置(片持式)

名称	数量	単位	単価	金額	基 当り
道路標識柱 オーバーハング 鋼管 F型 逆L型 T型 亜鉛メッキ	0.406	t			一般
標識柱設置 (片持式) 400kg以上 設置手間	1.000	基			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計				単位当り	
条件名称	入力値	入力名称			
J 0 1 柱の質量区分	2	400kg以上／基			
J 0 2 柱材料の規格	1	亜鉛メッキ			
J 0 3 柱1基当り質量 (実数入力)	406	406 kg/基			
J 0 4 施工規模加算	2	2基			
J 0 5 時間的制約を受ける場合の補正	1	無			
J 0 6 夜間作業の補正	1	無			

第 0003 号 代価表 標識板設置(案内標識[路線番号除く])

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
標識板設置 (案内標識 [番号除く]) 新設 広角プリズム 2m2以上 金具含	1.000	m2			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			
J 0 1 作業内容	1	新設			
J 0 2 標識板の規格	2	2.0m2以上			
J 0 3 反射シートの種類	1	広角プリズム			
J 0 4 施工規模加算	2	10m2未満			
J 0 5 時間的制約を受ける場合の補正	1	無			
J 0 6 夜間作業の補正	1	無			
J 0 7 標識板の裏面塗装	1	無			

第 0004 号 代価表 標識柱撤去(片持式・門型式)

名称	数量	単位	単価	金額	基 当り
標識柱撤去 (片持式) 400kg未満	1.000	基			
合計					
			単位当り		
J 0 1 柱の種類・規格	1		入力名称	片持式 400kg未満／基	
J 0 2 施工規模加算	2			2基	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正	1			無	
J 0 4 夜間作業の補正	1			無	

第 0005 号 代価表 標識板撤去(案内標識)(路側式・片持式・門型式)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
標識板撤去(案内標識) 路側式・片持式・門型式 2.0m2未満	1.000	m2			
合計					
			単位当たり		
条件名称	入力値	入力名称			
J 0 1 標識板の規格	1	2.0m2未満			
J 0 2 施工規模加算	2	10m2未満			
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正	1	無			
J 0 4 夜間作業の補正	1	無			

第 0006 号 代価表 標識基礎撤去(片持式・門型式)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
標識基礎撤去 コンクリート基礎	1.000	m3			
合計					
			単位当たり		
J 0 1 時間的制約を受ける場合の補正	1		入力名称	無	
J 0 2 夜間作業の補正	1			無	

第 0007 号 代価表 舫運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

1.000 m³ 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1. 2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	舗発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J 0 2	積込工法区分	1	機械積込
J 0 3	DID区間の有無	1	無し
J 0 4	運搬距離 (km) (DID区間無)	12	11.5km以下
J 1 6	費用の内訳	1	全ての費用

元設計數量總括表

設計書名：

事業区分：道路維持・修繕・雪害
工事区分：道路修繕

元設計数量総括表

設計書名 :

事業区分 : 道路維持・修繕・雪害
工事区分 : 道路修繕

工種	種別	細別	規格	単位	元数量		変更出来高 数量	元設計数量と 変更出来高 数量の差	変更設計数量	摘要
					計算数量	設計数量				
		標識撤去工								
		標識柱撤去（片持式）		基	2.00	2				0.36 t × 2 = 0.72 t
		標識板撤去（案内標識）		m ²	3.10	3				600×1500, 1枚 400×1000, 1枚 0126号線1000×1800, 1枚
		スクラップ	ヘビーH1	t	0.7	0.7				
		標識基礎撤去		基	1.0	1				1基
		コンクリート殻運搬		m ³	1.0	1				1.0×1.0×1.0
		コンクリート殻処分		t	2.3	2				2.35 t
共通仮設										
	安全費									
		交通誘導員	交通誘導員B	人日	6.0	6				

石一市0114-001



基板(アルミ): 2.0t JIS H4000 A5052P-H34
補強リブ(アルミ): H=55 JIS H4100 A6063S-T5
シート種類: カプセルフリズム型

平成29年度茨城県 標識設置工事		
ROAD SIGNS LAYOUT		
SIZE 380	SCALE 1:5	頁 020

株式会社 アイ・ロード

石一市0126-001

石一市0114-002



基板(アルミ): 2.0t JIS H4000 A5052P-H34
補強リブ(アルミ): H=55 JIS H4100 A6063S-T5
シート種類: カプセルプリズム型

平成29年度 茨城県 路面設置工事		
ROAD SIGNS LAYOUT		
SIZE 380	SCALE 1:5	頁数 024
株式会社 アイ・ロード		

(2) 概要

1) 基礎寸法の仮定

柱主材 $\varphi 216.3 \times 5.8$

柱長 = 6.800 m

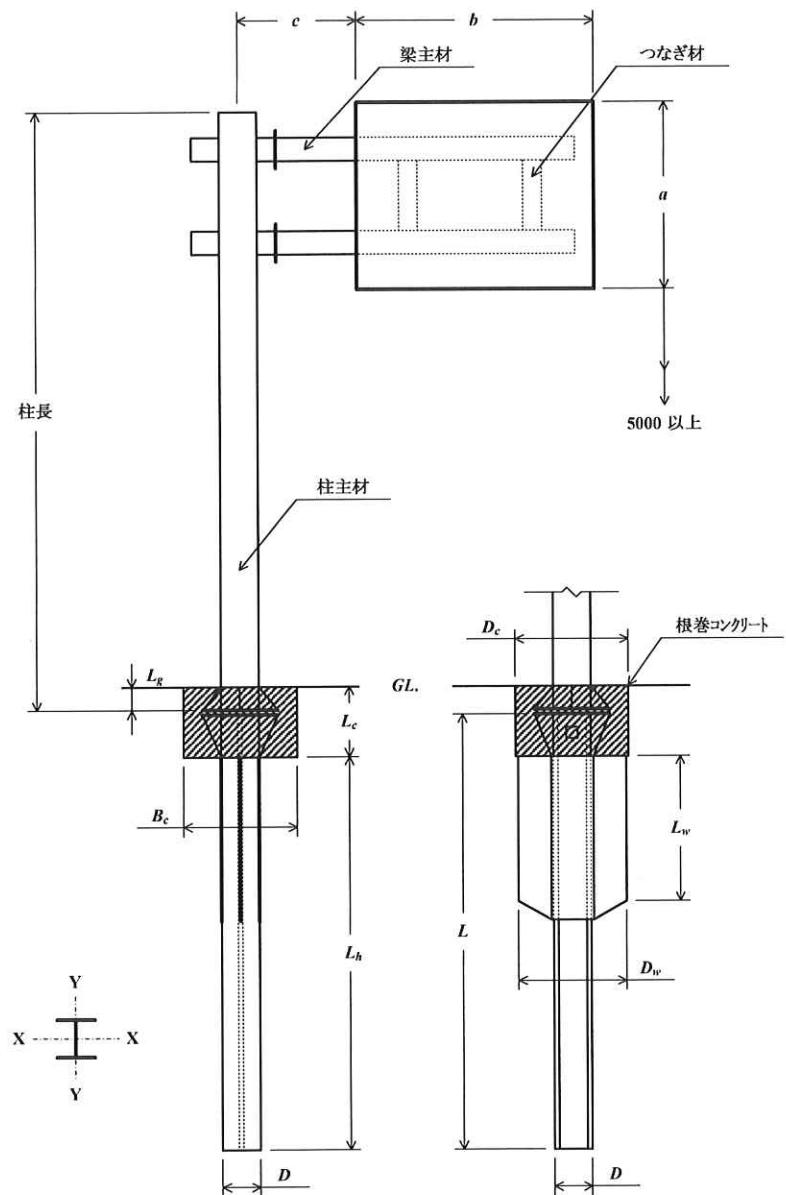
標識板寸法 $a = 1.500$ m

梁主材 $\varphi 101.6 \times 4.2$

$b = 2.200$ m

つなぎ材 $\varphi 76.5 \times 2.8$

張出し寸法 $c = 1.000$ m



杭断面方向

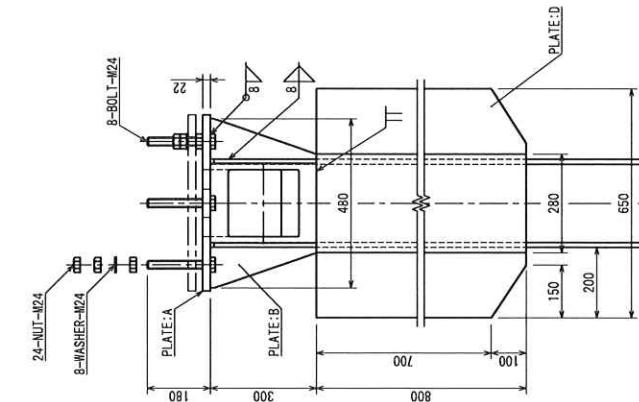
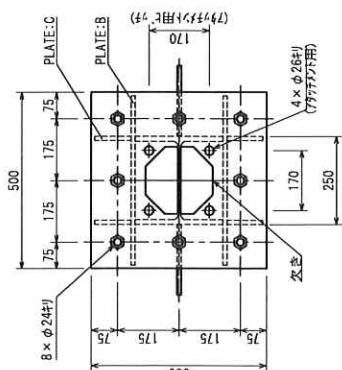
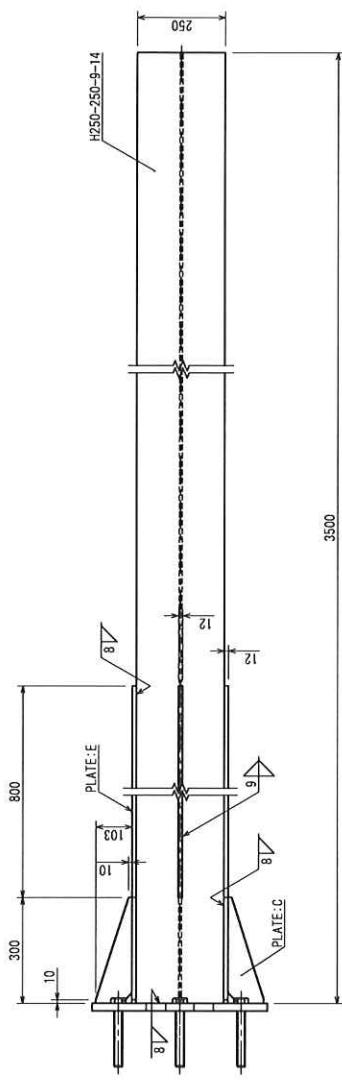


【ホーランカ-100型-V P-830001 H250-250-9-14】

根巻コンクリート 幅 $B_c = 0.65$ m
長 $D_c = 0.65$ m
深 $L_c = 0.60$ m

H形鋼 幅 $D = 0.25$ m
全長 $L = 3.50$ m
有効長 $L_h = 3.20$ m

フランジ底の深さ $L_g = 0.30$ m 抵抗板 幅 $D_w = 0.65$ m
有効長 $L_w = 0.70$ m



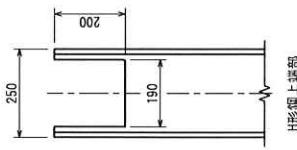
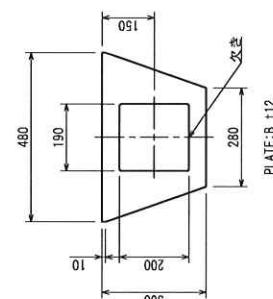
材料名	種別	規格・材質	寸法・強度区分	単重(kg)	数量	質量(kg)
BOLT	JIS B 1180 全ねじ六角ナット	M24 × L180	-4, 6	0.64	8	5.1
NUT	JIS B 1181 六角ナット	M24	-4	-	24	-
WASHER	JIS B 1256 並丸	M24	-	-	8	-
PLATE:A	JIS G 3101 SS400	22 × 500 × 500	43.18	1	43.2	
PLATE:B	JIS G 3101 SS400	12 × 300 × 480	13.56	2	27.1	
PLATE:C	JIS G 3101 SS400	12 × 103 × 300 × 1/2	1.46	4	5.8	
PLATE:D	JIS G 3101 SS400	12 × 200 × 300	15.07	2	30.1	
PLATE:E	JIS G 3101 SS400	12 × 280 × 300	21.10	2	42.2	
H	注1)	250 × 250 × 9 × 14 L=3500	251.30	1	251.3	
TOTAL				404.8		

注1) JIS G 3101 SS400, JIS G 3136 SS400A 又は、これと同等以上の材質とする。

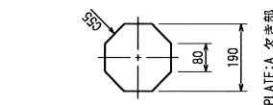
注2) 溶接部のスラッシュはC30 又は、R30とする。

注3) ノットは、強度区分4, 6と同等以上とする。

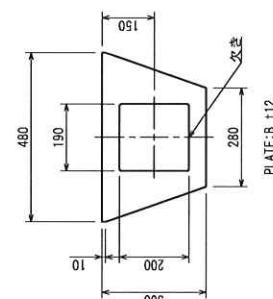
規格	ポールアンカー-100型-V	P-8330001	A
単位	mm	尺寸	1:10



H形鋼上部板



H形鋼上部板



H形鋼上部板